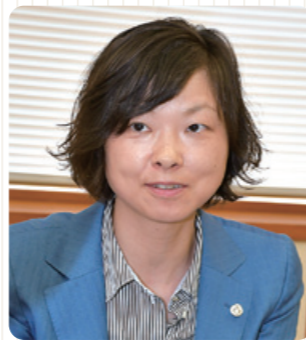


第27回秋季大学

実行委員長 角谷 雅子

飯塚毅初代会長の事をもっと知りたい、多くの職業会計人に伝えたい。私は実行委員長を拝命してこの思いを持って竹村大学長のところへ相談に行きました。全く打合せをしていたわけではないのに、竹村大学長からは「30年以上前から飯塚毅初代会長が言われていた事が今多く現実化している、なぜか。飯塚初代会長の考えを今一度探りたい」と言われ、他の選択肢はなくすぐに今回の企画が決まりました。

実は私は入会当初は、事務所経営が成り立ち、関与している顧問先に喜ばれる仕事をしていればそれで良い、と考えていてTKC活動にはほとんど興味はありませんでした。まさに運命の岐路を読み取れていなかったのだと思います。しかし全国会システム委員会に参加しシステム開発思想に触れ、飯塚初代会長の書籍を拝読し、それらが少しずつ事務所経営に活かすことができている実感を得るようになり、何より税理士としての使命を感じさせていただいたのはやはりTKC全国会があるからだと思っています。時代が変わっても飯塚初代会長が仰っていたことが現実となっており、事務所経営や関与先指導などを実践する上で重要な事は今も変わらず活かしている事を実感しています。しかし私を含め飯塚初代会長の生の声を直接聞いたことがないという会員・職員は当然増えており、TKC全国会の推進運動が伝わりにくいこともあるのではないかと、また私自身もTKC全国会の目指すところ、運動方針の意味合いを改めて勉強し、会員・職員に伝えていきたいという思いで企画を進めてまいりました。



緊張しながら角社長、植松先生、本田先生に講師を依頼しましたが、皆さん即答でした。角社長からは「どれくらい伝えられるか分かりませんが、精一杯努めます」とのお返事を頂き、植松先生と本田先生からは「飯塚初代会長の事を喋りたい!」との思いがひしひしと伝わってくる内容のありがたいお返事を頂きました。当日までのメールのやりとりの中でも熱い想いが伝わってきて、当日を迎えるのが楽しみな一方、絶対失敗できないというプレッシャーと不安も日に日に増していきました。懇親会の「不撓不屈クイズ」では、飯塚税理士の生き方を学んだり、税理士という職業を考える機会となったり、でも沢山楽しんでもらいたい、という思いで考えました。

いよいよ当日。竹村大学長の開会宣言で始まりました。角社長の基調講演では飯塚毅初代会長の妥協しない厳しさと人情味溢れる人柄を感じました。座談会ではコーディネーターの寺本先生に講師お一人ずつ迎えて頂きました。最初の質問で植松先生と本田先生お二人ともその場で立たれ、それぞれ飯塚初代会長との出会いをお話しされたのがとても印象的でした。その後、飯塚初代会長から学んだこと、実践している事、もし飯塚初代会長が目の前にいらっしゃったら…などの多くの質問に一つ一つ丁寧にお話ししていただきました。



1年目の頼りない支部長のもと洛南支部の皆さんの大きな支えがあり、なんとか実行委員長も務めさせていただきました。素晴らしい講師を迎え、520名という多くの参加者で秋季大学を終えることができ、感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。

最後に、秋季大学を終えて私の所に届いた講師の方からの言葉を紹介します。

角社長「多くの会員先生や職員の皆さんが熱心に聴講されており、話す側としても気合いが入りました。当社創業者の偉大な業績や人柄について全体を理解することはかなり難しい状況となってきました。しかしながら、今回のような企画を通して、創業者の思いとミッションを多くの先生が引き継ぎ次の世代へとつなげることが大切であると強く感じた次第です。私も社内の立場から多くの若手社員に対して語り続けていきたいと思えます。」

植松先生「初代会長の書物に触れると、我々への『職業会計人としての祈り』を覚えます。教えを胸に、職業会計人の使命感を自覚し、これからも会計人の世界を精一杯、生きてゆく所存です。」「月次巡回監査完全構築は絶対。(当たり前のことを繰り返し先を目指して繰り返し繰り返し、途中でやめると失敗するヨ)」

本田先生(実行委員にむけて)「その並々ならぬ努力・気配りがとても居心地の良い楽しい一刻となって、参加者全員に行き届いたという実感がありました。…どうぞ疲れている場合じゃない、と益々ご活躍ください」



第27期定期決算総会 開催報告

総務委員長 高村 智

令和元年9月25日、第27期定期決算総会が、ホテルグランヴィア京都において開催されました。小松崎哲史会員(洛南・総務委員)に司会を務めて頂きました。

まず、司会者から議決権数(出席者62名、委任状178名、計240名)が説明され、本総会が成立している旨の報告がありました。

議長の選出は、司会者に一任されましたので、江後良平会員(洛南)が指名されました。また、議事録署名人は、佐々木恒行会員(滋賀)と小寺 樹会員(洛西)が議長より指名されました。

議案審議においては、小生が第1号議案である第27期事業報告の上程を行い、佐藤正行会長から概要の説明が行われました。

また、第2号議案である第27期決算報告については上羽孝昌財務委員長からの説明の後、監事の谷口薫会員から、適正である旨の監査報告がなされ、両議案ともに承認されました。

議場では、積極的に質問・要望が飛び交い、活気あふれる総会でありました。

